

相模女子大学日本学国際研究所主催 紀伊國屋書店アカデミック・ラウンジシリーズ
 「相模女子大学日本学国際研究所と学ぶ・知る・考える」講演概要

Vol.9	日程・開催時間	2026年1月25日（日曜日）14:00～15:30
	タイトル	戦後日本人は何をどのように食べてきたのか？～国民健康栄養調査結果から考える～
	講師	神奈川工科大学健康医療科学部管理栄養学科准教授 原島 恵美子 相模女子大学栄養科学部健康栄養学科教授・相模女子大学日本学国際研究所研究員 水上 由紀
	内容	明治以降、日本人の生活様式は欧米化してきました。食生活においても欧米化が進んでいます。日本人が何をどのように食べてきたのかを振り返ることは、将来の食料生産や健康教育を考えるために重要です。 日本人が何をどのように食べてきたのかを知るデータとして「国民健康・栄養調査」があります。この調査は、第二次世界大戦後に外国から食料援助を受けるためのデータ収集として始まり、現在でも継続されています。 今回は「国民健康・栄養調査」の研究をされている原島恵美子先生をお迎えし、戦後の栄養摂取状況について解説をしていただきながら、日本人は何をどのように食べてきたのかを振り返ります。

Vol.10	日程・開催時間	2026年3月20日（金曜日・祝）14:00～15:30
	タイトル	国道246号線スタディーズ・序説－青山通りの近現代を歩く－
	講師	相模女子大学学芸学部メディア情報学科准教授・相模女子大学日本学国際研究所研究員 塚田 修一
	内容	青山、渋谷、三軒茶屋といった人気スポットを経由し、厚木、そして沼津へと至る国道246号線。首都圏において重要なこの国道を通して、都心と郊外の歴史と現在を考えます。本講座では、起点の三宅坂から渋谷までの「青山通り」の区間の近現代史を、「ミリタリー」「スポーツ」「音楽」をキーワードに読み解きます。ミニ・ワークショップの実施も予定しており、参加者と対話しながら「ニーヨンロク」について考えたいと思います。

Vol.11	日程・開催時間	2026年5月17日（日曜日）14:00～15:30
	タイトル	「和」ってなんだろう？－日本のこころのルーツと、世界へのヒント
	講師	相模女子大学客員教授・相模女子大学日本学国際研究所客員研究員 ピーター・J・マクミラン
	内容	聖徳太子の「和を以て貴しと成す」は日本人なら誰でも知っている言葉ですが、「和」って本当はどんな意味なのでしょう？この講演では奈良時代にまでさかのぼって、専門家ではなく外国人の目線から「和」のルーツを探ります。日本人が大切にする「和」と、西洋で重んじられる「正義」との違いも含めて楽しく紹介します。 今の時代だからこそ、世界に届けたいメッセージ「和」について、一緒に考えてみませんか？